

目次

■ 論文	中條健志	フランスのメディアにおける「若者」の語り — 「暴動」をめぐる「排除」の言説 —	2
	室山留美子	隋開皇年間における官僚の長安・洛陽居住 — 北人・南人墓誌記載の埋葬地分析から —	12
	中嶋晋平	戦間期における地方紙の軍縮論 — ワシントン会議前後の『京都日出新聞』の報道を事例に —	24
	岡戸香里	逆転のイメージ — ジャワ舞踊劇ラングンドゥリヤンにおけるクロス・ジェンダード・パフォーマンス —	35
	富岡三智	伝統批判による伝統の成立 — ジャワ舞踊スラカルタ様式の場合 —	50
	山口博子	紀昀の見た烏魯木齊 — 清朝による辺境開発の一側面 —	65
■ 研究ノート	宮崎弦太・田端拓哉・池上知子	友人関係の単一・多重送信性と都市的環境への適応 — 都市部大学生を対象として —	77
	向井有理子・渡部美穂子・金児暁嗣	異文化への態度における都鄙差	85
	内田龍史・菅野正之	大阪市における若者の就業構造の変容と生活様式 — 「大阪市若者の仕事とくらし調査」から —	98
■ 特別寄稿	ベヴェリー・ボスラー (監訳 平田茂樹, 翻訳 納谷朝陽)	北宋知識人階層の社会生活における家妓の役割に関する考察：その可能性と限界	113
	井上雅人	日本における「ファッション誌」生成の歴史化 — 『装苑』から『アンアン』まで / 『ル・シャルマン』から『若い女性』まで —	125
	久保田和男	玉清昭応宮の建造とその炎上 — 宋真宗から仁宗(劉太后)時代の政治文化の変化によせて —	139
■ 研究展望	小林聡明	東アジア・メディア史研究の可能性 — 日韓の相互理解と東アジアの和解にむけて —	153
■ シンポジウム	古野貢・村井良介・藤本誉博・天野忠幸・小谷利明・西島太郎・藤本史子	戦国期畿内研究の再構成と『細川両家記』	159
	仁木宏・中谷惣・山崎覚士・山口智哉・高谷知佳	比較都市史研究の新たなところみ — 河原温著『都市の創造力』を読む —	179
■ 翻訳	王 標 巫仁恕著	都市からみる中国の現代性 — 『従城市看中国的現代性』導論 —	199
■ 書評	岡村俊史	David Owen著 <i>Nietzsche's ›Genealogy of Morality‹</i>	209
■ 海外レポート	齊藤紘子・三田智子	アメリカの日本史研究にふれて — 日本近世史研究交流会参加記 —	211
■ ニュース			215
	執筆要項		240
	編集後記		241
	執筆者一覧		242

表紙写真は、ジャワ宮廷舞踊「ブドヨ・バンクル」公演(2007.6.28 中部ジャワ州立芸術センター)。撮影:Heru Santoso。
富岡三智の日本財団API Fellowship助成事業として、同センター共催、インドネシア科学院、国立芸術大学スラカルタ校後援により実施。